

70周年記念事業 全日本学生柔道形競技大会 要項 (8/2)

1. 大会名 : 70周年記念事業 全日本学生柔道形競技大会
2. 主催 : 全日本学生柔道連盟
3. 主管 : 北信越学生柔道連盟
4. 競技種目 : (1) 投の形 (2) 固の形 (3) 柔の形
 - ・各種目において、性別の組み合わせは問わない。
 - ・複数種目の出場は認めない。
 - ・本大会は「録画審査方式」を採用する。
5. 出場資格 : (1) 今年度、全日本柔道連盟の登録済みの者
 (2) 国公立大学または短期大学などに在籍の者
 (3) 在学中、実業団その他の職域チームに属し、その試合に出場していない者
 (4) 在学期間における、日学柔連指定修得単数を満たしていることとする。
6. 参加申込 : (1) 申し込み先
 〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1
 金沢工業大学 鈴木貴士
 E-mail : suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp
 (2) 申込方法
 ①各地区学生柔道連盟が参加者を取りまとめ、一括して、申込用紙を上記申し込み先にメールにて送信する。
 ②在学証明書及び成績証明書は原本を全日本学生柔道連盟事務局に送付する。
 (3) 申し込み期限
 ①申し込み期限は、2022 年 11 月 30 日 (水) 17:00 までとする。
 ②大会主管事務局の返信をもって、参加申し込みが完了したこととする。
 (4) 映像の提出期限
 ①映像は、大会主管事務局が参加校に送付したリンク先へ期日までにアップロードすること。
 その際、動画ファイル名は、「エントリー種目・地区・大学名・取・受の順」とする。
 例) 投 北信越 石川大学 鈴木 吉見
 ②映像のアップロード期日は、2022 年 12 月 1 日 (木) ~24 日 (土) 23:59 までとする。
 ③大会主管事務局で映像を確認し不備がなければ「受理」、不備があれば「修正依頼」の連絡を行うため、期限を問わず、早めに提出することが望ましい。なお「修正依頼」をした大学については、概ね 1 週間以内に再提出すること。
 (5) 大会参加費
 1 組 : 1,000 円とし、各地区学生柔道連盟が取りまとめて、11 月 30 日 (水) までに下記口座に振り込むこと。
 振込先 : 三井住友銀行 小石川支店 (813) 普通 428679
 (一社) 全日本学生柔道連盟 会長 沖永佳史
7. 各地区出場枠
 各地区の出場枠は以下のとおりとする。

北海道	東北	北信越	関東	東京	東海	関西	中国四国	九州	合計
4	4	4	10	17	4	8	4	5	60

 申し込みの際、以下の条件を満たしていること
 ① 3 の倍数分の枠は、「投の形」「固の形」「柔の形」に均等にエントリーすること
 ②端数の枠はどの種目へのエントリーでも可とする
 例 : 出場枠が 4 の地区 : 投・固・柔に各 1 組エントリー、残り 1 組は種目を問わない
 出場枠が 8 の地区 : 投・固・柔に各 2 組エントリー、残り 2 組は種目を問わない
 ③少なくとも 1 組は女子を含めなければならない
 ④1 団体につき、出場できる組は各地区出場枠の 1/4 (端数切捨て) とする。
 但し、男女柔道部がある場合は、それぞれ 1 つの団体とみなす。また、東京地区は 1 団体の上限を 3 組までとする。
 ⑤各地区出場枠は上記のとおりであるが、出場希望者が多い地区に限り最大 2 枠まで追加を認める。ただし、1 校の上限は原則として規定枠を含め 3 組までとする。
8. 撮影規定 : 動画の撮影方法においては、以下のとおりとする。
 ※別紙「形競技大会 (録画審査方式) 動画撮影要領」を必ず参照すること
 (1) 服装・衛生
 ①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣 (上衣、下穿、帯) を着用すること。柔道衣は取受ともに、白とする。インナーの着用は不可とし、女子のシャツは白とする。
 ②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。
 ③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。
 ④感染症対策として、マスクの着用を認める。
 (2) 撮影範囲・位置
 ①4 間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。

※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。投の形、柔の形でははみ出す場合があるので、場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。演技中は、4 間の間合い時(両者の距離(約 7.3m))に被写体が途切れることのないように撮影すること。

②カメラの位置は概ね演技者の帯～頭(上半身)を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること。

③映像には演技者以外の人や演技以外の音声が入らないようにすること。

④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。

(3) ラインテープ

①取受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約 10 cm、長さ約 50 cm とする。

②テープ色は畳の色と同色を避けていれば問わない。

③中央(前後左右の中心)にテープを貼る。

④中央から 1.5 間(約 275cm)空けた位置にテープの外側を合わせる。

⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる(テープは踏まない。テープは外側に貼るので、越したり、離れすぎないようにする。)

⑥チームにより試合場や畳の大きさが異なるため、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

(4) 動画

①画素数(フレーム枠)は 1920×1080(1080P)であること。

※「1080P」は「フルハイビジョン」「フルHD」とも表記される。

②動画のフレームレート(fps)は概ね「30」であること。

③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。

④撮影者がおらず、セルフでの撮影となる場合は、演技前後の部分が入ってもかまわない。

⑤動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での取受両方の立礼』」から「演技後の『場外での取受両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。

9. 競技方法 : (1) 審査及び審査員

①原則として、審査は 1 種目の形をその種目の全日本柔道連盟公認形審査員 5 名で行う。但し、1 種目の参加組が極端に多い場合においては、(4)の通り、審査を行う。

②審査員は、評価した点数を公式採点票に明記する。

(2) 審査方法

①演技者(組)による演技(礼法・服装、技の内容、全体の流れ)を審査する。

②10 点満点で評価する。

③各演技(組)における 5 人の審査員の評点のうち、最高点と最低点を除いた 3 人の審査員の評点の合計(小計)をその施技の得点とする。最高点又は最低点が複数(例; 7, 7, 6, 6, 6)であった場合、除く点はそれぞれ 1 つとする(例; 7 を 1 つ、6 を 1 つ除く。この場合は、 $7 + 6 + 6 = 19$ 点がその組の得点となる)。

④審査に当たっては、事前に模擬審査を行った後に主任審査員と審査員で審査員会議を行う。

(3) 順位の決定(同一審査員の場合)

全ての組を同一審査員で審査する場合の順位は以下の順に従って決める。

①各評価項目の得点を合計し(=合計点という)、その高い方を上位とする。

②合計点が同点の場合

各評価項目の評点(=最高点と最低点を除いた評点)を見て、より低い評点のある方を下位とする。

③同内容の場合、②のより低い評点の個数の多い方を下位とする。

④同内容の場合、各評価項目の評点(=最高点と最低点を除いた評点)を見て、より高い得点のある方を上位とする。

⑤同内容の場合、④のより高い評点の個数の多い方を上位とする。

⑥それでも同内容の場合、同位とする。

⑦得点は合計点と 100 点換算(小数点第 2 位以下切り捨て)の 2 つを表示する。

(4) 順位の決定(参加人数が多く、同一審査員での実施が困難な場合)

参加組が多い場合、2 班に分けて審査を行う。その場合の順位の決定方法を以下に定める。

①各班において、(3)に基づき、順位を決定する。

②各班の上位 3 組を決勝進出とし、他班の決勝進出者と併せ、再度、審査員長が指名した審査員 5 名で審査を行う。予選と決勝を兼任する審査員は、予選で審査済みの組においても再審査を行うこととする。

(5) 審査基準

審査員は、下記の内容を参考にして総合的に評価をする。

①礼法・服装

礼法: 立礼、坐礼、姿勢、目付、呼吸等

服装: 服装の乱れ、帯・紐の解け等

②技の内容

基本動作：基本動作、姿勢、態度、組み方、進退動作、体捌き、受身等
技の理合い：正確度（崩し・作り・掛け）、緩急、強弱、気迫、迫真性、順序
受身等位置の取り方：位置、相手との間合い等

③全体的な流れ リズム、テンポ、調和等

(6) 評価の判断基準

評価の判断基準は、次のとおりとし、0.5 点刻みにて評価する。

- ①非常に優れている 9 点～10 点
- ②優れている 7 点～8.5 点
- ③普通である 5 点～6.5 点
- ④劣る 3 点～4.5 点
- ⑤非常に劣る 0.5 点～2.5 点

(7) 間違いがあった場合の評点について

- ①次の場合は合計点を 2 分の 1 とする。
 - ・やり直した場合、その技及び全体の流れの評価はそれぞれ 4.5 点を最高点とする。
- ②評価項目以外の技を演技した場合、その技は 0 点とする。

(8) 失格

演技者（組）が施技の順序を間違えた場合、及び技を抜かした場合においては、審査員が合議し、適切に処理する。

(9) 抗議の禁止

審査員による審査結果は絶対であり、異議の申し立ては認められない。

(10) その他

本要項に定められていない事態が発生した場合、審査員は、審査員長及び大会委員長と合議の上、処理する。

- 10. 傷 害 保 険 : 撮影における怪我等に関して、主催者は一切の責任を負わない。各自傷害保険等に参加すること。
- 11. 表 彰 : 各種目の上位 3 組を表彰する。4～6 位 3 組に敢闘賞を授与する。また、必要に応じて奨励賞などの特別賞を授与する。
- 12. 抽 選 : 演技の順番、および複数班に分ける必要がある場合は、主催者にて組の抽選を行う。
- 13. 審 査 : 審査日調整中（出場種目数が確定後、全柔連・形部会と審査員及び審査日程について協議し、日程を確定する）
- 14. 大 会 事 務 局 : 主催事務局：
〒112-0003 東京都文京区春日 1-16-30 講道館内 （一社）全日本学生柔道連盟
TEL 03-3818-1587 FAX03-3818-1960
主管事務局：（北信越学生柔道連盟内 形競技大会担当校）
〒921-8501 石川県野々市市扇が丘 7-1
金沢工業大学 鈴木貴士
E-mail：suzuki-t@neptune.kanazawa-it.ac.jp
※問い合わせ等はすべて主管事務局である北信越学生柔道連盟担当校（金沢工業大学）に行うこと。
- 16. そ の 他 : <個人情報（所属・氏名）や肖像権の取り扱い>
 - (1) 提出された動画の映像は、YouTube にて公開される場合がある。また、報道機関や柔道連盟等により新聞および関連ホームページ等に公開される場合がある。動画を提出した時点で、個人情報（所属・氏名）や肖像権についての上記取り扱いに関する承諾を得たものとして対応する。
 - (2) 各形の優勝組は、次年度の全日本学生柔道優勝大会などの当連盟主催大会において「形」を披露することとする。
 - (3) 各形の上位 3 組は、全日本柔道連盟が主催する形強化合宿に参加し、一定水準以上の技量が認められた場合は、次年度開催される国際大会に派遣されることがある。

形競技大会（録画審査方式） 動画撮影要領

1. 動画撮影について

（1）服装

- ①柔道衣に関しては全日本柔道連盟柔道衣規格に合格した柔道衣（上衣、下穿、帯）を着用すること。
柔道衣は取受ともに、白とする。インナーの着用は不可とし、女子のTシャツは白とする。
- ②所属を示すゼッケンのある柔道衣とする。
- ③長髪の場合は、動作の妨げにならないように束ねること。
- ④感染症対策として、マスクの着用を認める。

（2）撮影範囲・位置取り

- ①4間の間合い時に被写体が途切れることのないようにカメラの位置を調整すること。
※場外での取受両方の立礼が入る位置をフレーム幅の基準とする。演技中は、4間の間合い時（両者の距離約7.3m）に被写体が途切れることがないように撮影すること。
- ②カメラの位置は概ね演技者の帯～頭（上半身）を目安に高さを設定し、必ず固定して撮影すること。
- ③映像には演技者以外の人や演技以外の音声が入らないようにすること。
- ④逆光など映像が鮮明に映らないような要素は極力排除すること。
- ⑤すべて正面側から撮影すること。



図1 望ましい撮影範囲

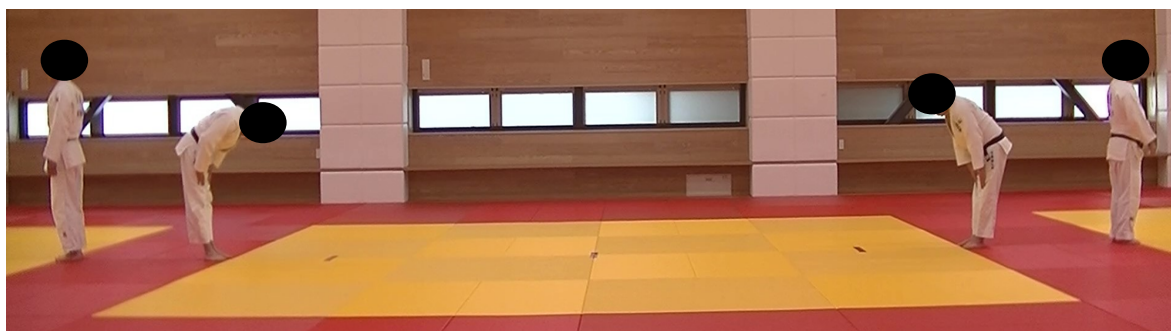


図2 受理できない撮影範囲

（3）

ラインテープ

- ①取と受が演技の始めと終わりに立礼又は坐礼をする位置を示すためにラインテープを貼ることとする。ラインテープは幅約10cm、長さ約50cmとする。
- ②テープ色は畳の色と同色を避けていけば問わない。
- ③中央（前後左右の中心）にテープを貼る。
- ④中央から1.5間（約275cm）空けた位置にテープの外側を合わせる。
- ⑤演技者はテープの外側につま先を合わせる（テープは踏まない）
- ⑥チームにより試合場や畳の大きさが異なる場合があるため、畳の枠で合わせず、中心からの距離でテープを貼ることとする。

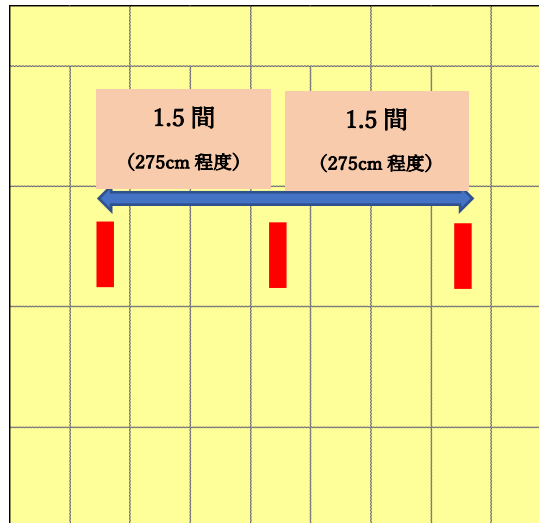


図3 ラインテープの位置

(4) 動画

- ①画素数（フレーム枠）は 1920×1080（1080P）であること。
※「1080P」は「フルハイビジョン」「フルHD」とも表記される。
- ②動画のフレームレート（fps）は概ね「30」であること。
※上記設定で、1分間で約120MBのデータ量となる。
- ③①②を満たしていれば、録画する機器は指定しない。
- ④撮影者がおらず、セルフでの撮影となる場合は、演技前後の部分が入ってもかまわない。
- ⑤動画は未編集のものとする。但し、「演技前の『場外での取受両方の立礼』」から「演技後の『場外での取受両方の立礼』」以外は切り取ってもかまわない。
- ⑥解像度やフレームレートの変更方法は端末で異なるため、取扱説明書やwebで確認すること。
- ⑦動画の画質確認方法

【windows】

- ・動画ファイルを右クリックし、プロパティを開く
- ・「詳細」をクリックする
- ・「フレーム幅」「フレーム高」「フレーム率」を確認する

【mac】

- ・動画ファイルを QuickTime で開く
- ・メニューから「ウィンドウ」→「ムービーのインスペクタを表示」をクリックする
- ・「フォーマット」「FPS」を確認する

2. 申し込み方法と映像の送信手順について

(1) 申込方法

- ①各地区学生柔道連盟が地区の参加者を取りまとめ、一括して申し込みを行う。
- ②映像は、大会主管事務局が参加校に送付したリンク先へ期日までにアップロードすること。
その際、動画ファイル名は、「エントリー種目・地区・大学名・取・受の順」とする。
例) 投 北信越 石川大学 鈴木 吉見
※容量が大きいため、ネットワーク通信が定額制でない場合、通信量に気を付けること。
- ③大会主管事務局側で映像を確認し、不備がなければ「受理」、不備があれば「修正依頼」の連絡を行う。

※申し込みの一連の流れについては、大会要項をご参照ください。